

# 都築電気株式会社

## 2020年3月期決算説明会資料

2020年5月28日

証券コード：8157

URL <https://www.tsuzuki.co.jp>

# 本日のアジェンダ

- 1 2020年3月期業績
- 2 前中期経営計画総括
- 3 新中期経営計画
- 4 2021年3月期予想
- 5 株主還元
- 6 SDGsへの取り組み

# 1 2020年3月期業績

---

# 業績ハイライト

■ 3期連続増収、増益決算

■ 営業利益・経常利益ともに  
最高益を達成

# 損益計算書

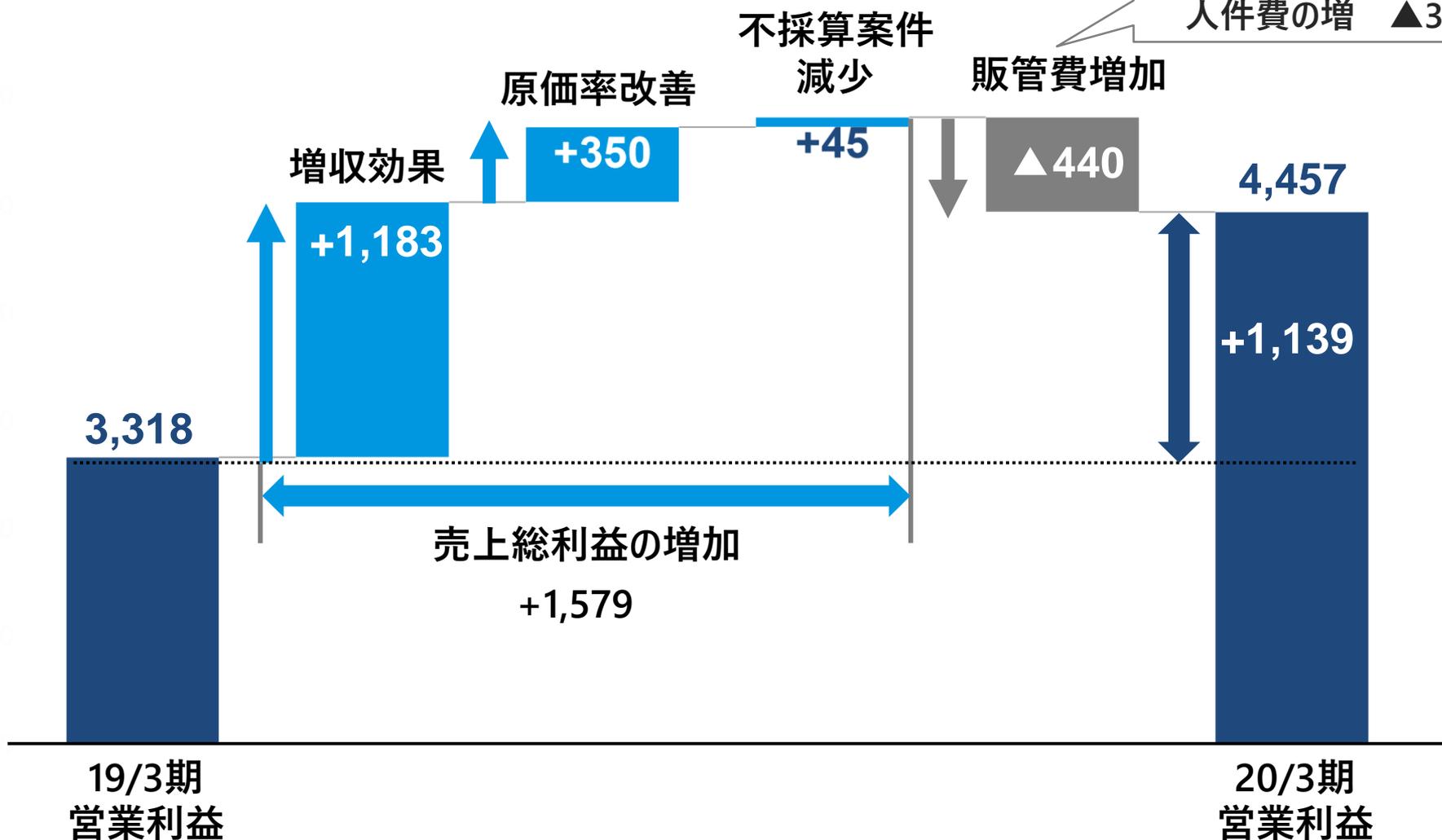
(単位：百万円)

	19/3期	20/3期	増減額	前期比	業績予想	業績予想比
受注高	122,916	<b>121,226</b>	△1,689	98.6%	—	—
売上高	118,872	<b>125,366</b>	6,493	105.5%	119,000	105.3%
売上総利益	21,496	<b>23,075</b>	1,579	107.3%	—	—
(原価率)	(81.9%)	<b>(81.6%)</b>	(△0.3pt)	—	—	—
販売費及び 一般管理費	18,177	<b>18,618</b>	440	102.4%	—	—
営業利益	3,318	<b>4,457</b>	1,139	134.3%	3,500	127.4%
(営業利益率)	(2.8%)	<b>(3.6%)</b>	(0.8pt)	—	(2.9pt)	(0.7pt)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,212	<b>3,155</b>	943	142.6%	2,360	133.7%

# 営業利益変動要因

(単位：百万円)

【主な増減要因】  
人件費の増 ▲361



# セグメント別実績

(単位：百万円)

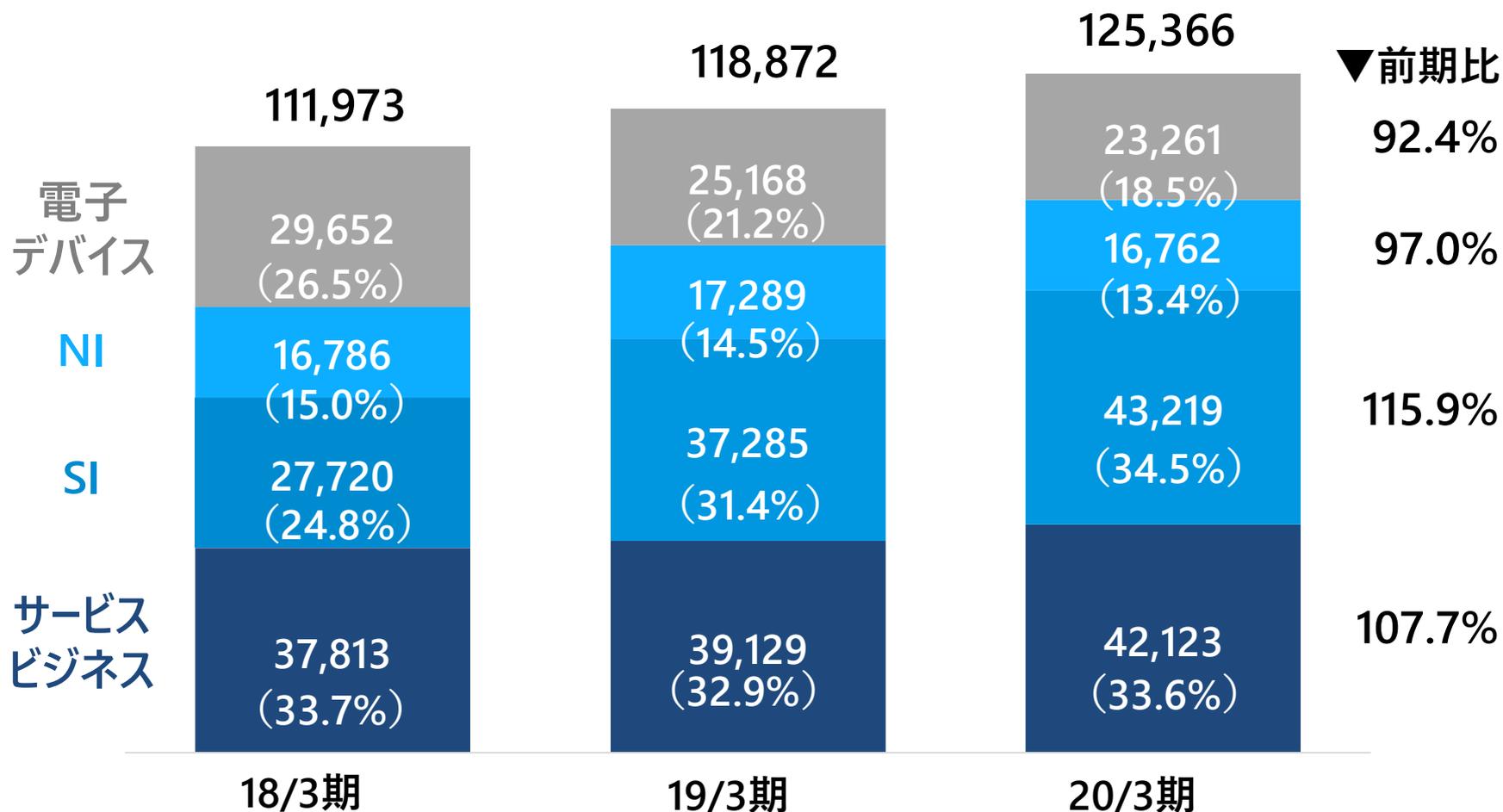
	売上高				営業利益			
	19/3期	20/3期	増減額	前期比	19/3期	20/3期	増減額	前期比
情報ネットワーク	93,704	<b>102,104</b>	8,400	109.0%	3,054	<b>4,289</b>	1,234	140.4%
電子デバイス	25,168	<b>23,261</b>	△1,906	92.4%	260	<b>163</b>	△96	62.8%
連結	118,872	<b>125,366</b>	6,493	105.5%	3,318	<b>4,457</b>	1,139	134.3%

※営業利益の調整額は除いております

# ビジネスモデル別実績

(単位：百万円)  
カッコ内は構成比

■SIが大きく伸長、サービスビジネスも順調に拡大



# 受注・受注残

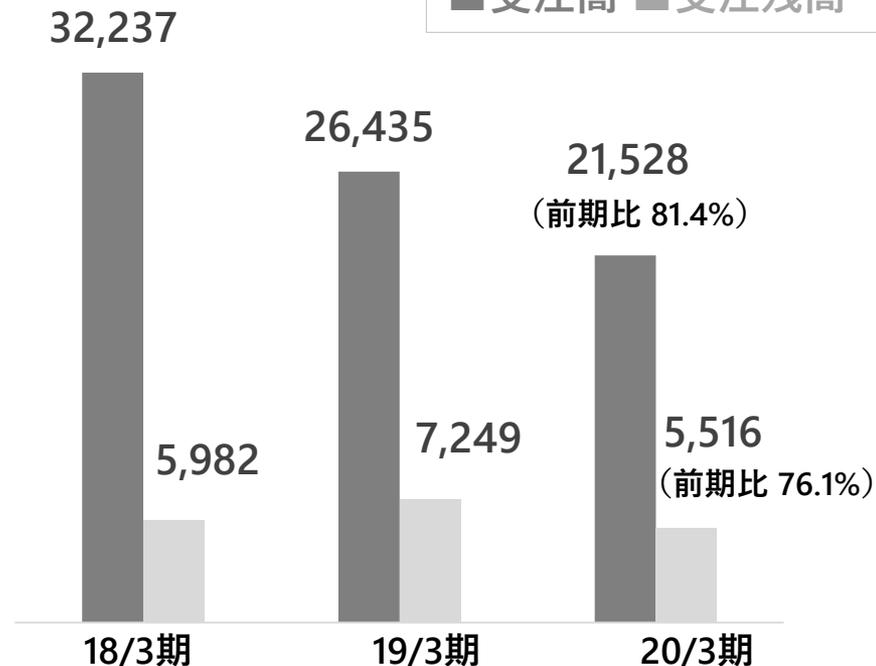
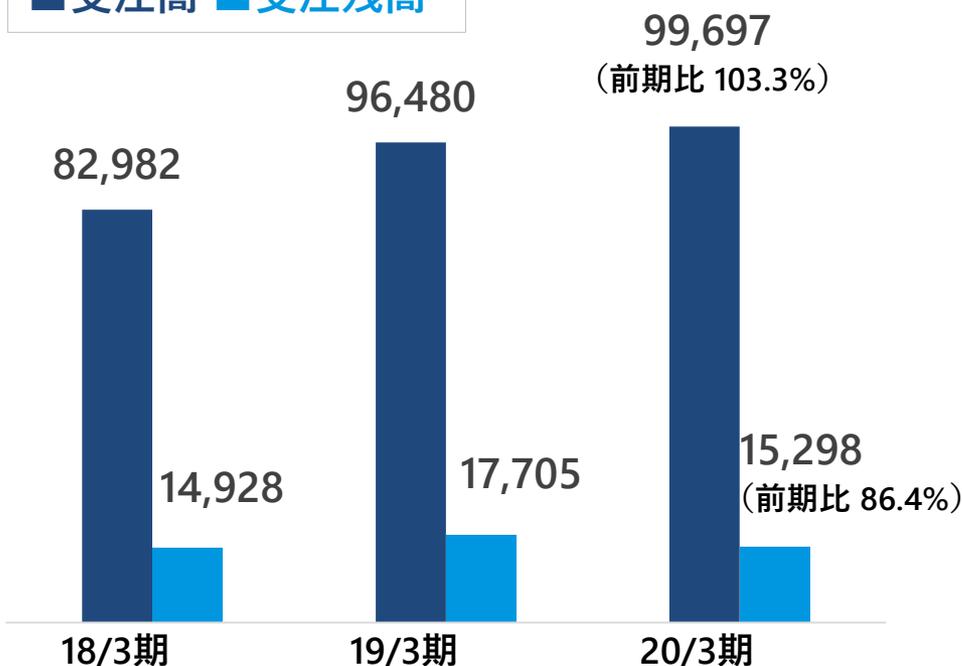
■ 受注高      合計1,212億円（前期比98.6%、17億円減）  
■ 受注残高    合計 208億円（前期比83.4%、41億円減）

## 情報ネットワーク

## 電子デバイス （単位：百万円）

■ 受注高   ■ 受注残高

■ 受注高   ■ 受注残高



## 2 前中期経営計画総括

---

# 目標達成状況

- すべての目標を達成
- 特に営業利益は大幅に達成

## 中期経営計画『Make New Value 2020』

(単位：百万円)

	目標	実績 (20/3期)	達成率
売上高	106,000	125,366	118% 
営業利益 (利益率)	2,800 (2.6%)	4,457 (3.6%)	159% (1.0pt) 
ROE	8.0%以上	10.8%	(2.8pt) 

# 重点施策の実績①

## 重点施策

## 実績

## 評価

サービスビジネスの強化

- ・ 18/3期の売上378億円から20/3期は421億円と着実に増加
- ・ 物流分析や外食店舗の調達・保守等の独自サービスも開始



電子デバイス事業の変革

- ・ 車載・FA分野でのグローバル製品拡販は進んだものの、中国市場の減速の影響で変革は途上



不採算案件の発生防止策の強化

- ・ 防止策によって発生額が着実に減少

単位（百万円）

	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期
	1,099	477	178	166	121



※19/3期の決算説明会資料でお示した不採算案件の金額には、たな卸資産評価損・販売用ソフトウェアの減損等を含んでおります。上記は不採算案件「プロジェクト」の損失金額を示したものです。

## 重点施策の実績②

### 重点施策

### 実績

### 評価

医療・福祉・介護の  
成長分野への挑戦

・(株)麻生との資本業務提携を深め、  
麻生情報システムと共同特許出願



ソリューションサービス事業と  
デバイス事業の融合

・IoT分野で融合を進めるも、事業化に  
遅れ。Armとの販売パートナーシップ  
契約を契機に加速を図る



AI・Robotics等の  
次世代ICT技術を  
活用した新たな  
ビジネスモデルの創造

・AI技術者を15名育成し、複数の  
お客様とPoCを実施も、業績貢献には  
至らず  
・(株)コムデザインと資本業務提携  
コンタクトセンターでのAI活用を共同開発



成長新分野  
新領域への  
挑戦

# 重点施策の実績③

重点施策

実績

評価

健康管理を経営的  
視点から見つめ直し、  
戦略的に実践

・ホワイト500に3年連続認定



働き方改革の推進

・総労働時間削減を実現  
・テレワークを推進。  
緊急事態宣言発令以降は全社員が  
全面テレワークを実施



健康経営の  
実践

# 3 新中期経営計画

---

# 新中期経営計画の方針

存在意義  
(ビジョン)

「人と知と技術」を未来につなぎ、豊かな世界を開拓します。

## 新中期経営計画「Innovation2023」

目指す姿

お客様のDX対応や競争力強化を実現

||

イノベーション・サービス・プロバイダー

豊かな社会の実現

### 重点施策

1. サービス化による事業構造の変革
2. データドリブンビジネスの推進
3. 経営基盤の強化

ESG活動

SDGs



# 策定の背景

 外部環境

パラダイムシフト

コロナ禍での行動変容

デジタル革新  
(AI・IoT・5G)

労働人口減少

サステナビリティ

選ばれ続ける企業で  
あるために

新中期経営計画

「Innovation2023」

モダナイゼーション   
既存資産と  
最新テクノロジーの融合



イノベーション 

お客様のビジネスを革新する  
新価値の提供

DX

Digital Transformation

# 事業方針

既存資産のモダナイゼーションを推進するとともに、イノベーションを伸ばし、構造転換を進める



20/3月期



23/3月期

# 目標

23年3月期

Innovation 2023

20年3月期

Make New Value 2020

売上：

1,254億円

営業利益：

44.6億円

(営業利益率3.6%)

ROE : 10.8%

売上：  
1,260億円

営業利益：

46億円

(営業利益率3.7%)

ROE : 9%

17年3月期

売上：

1,051億円

営業利益：

21.4億円

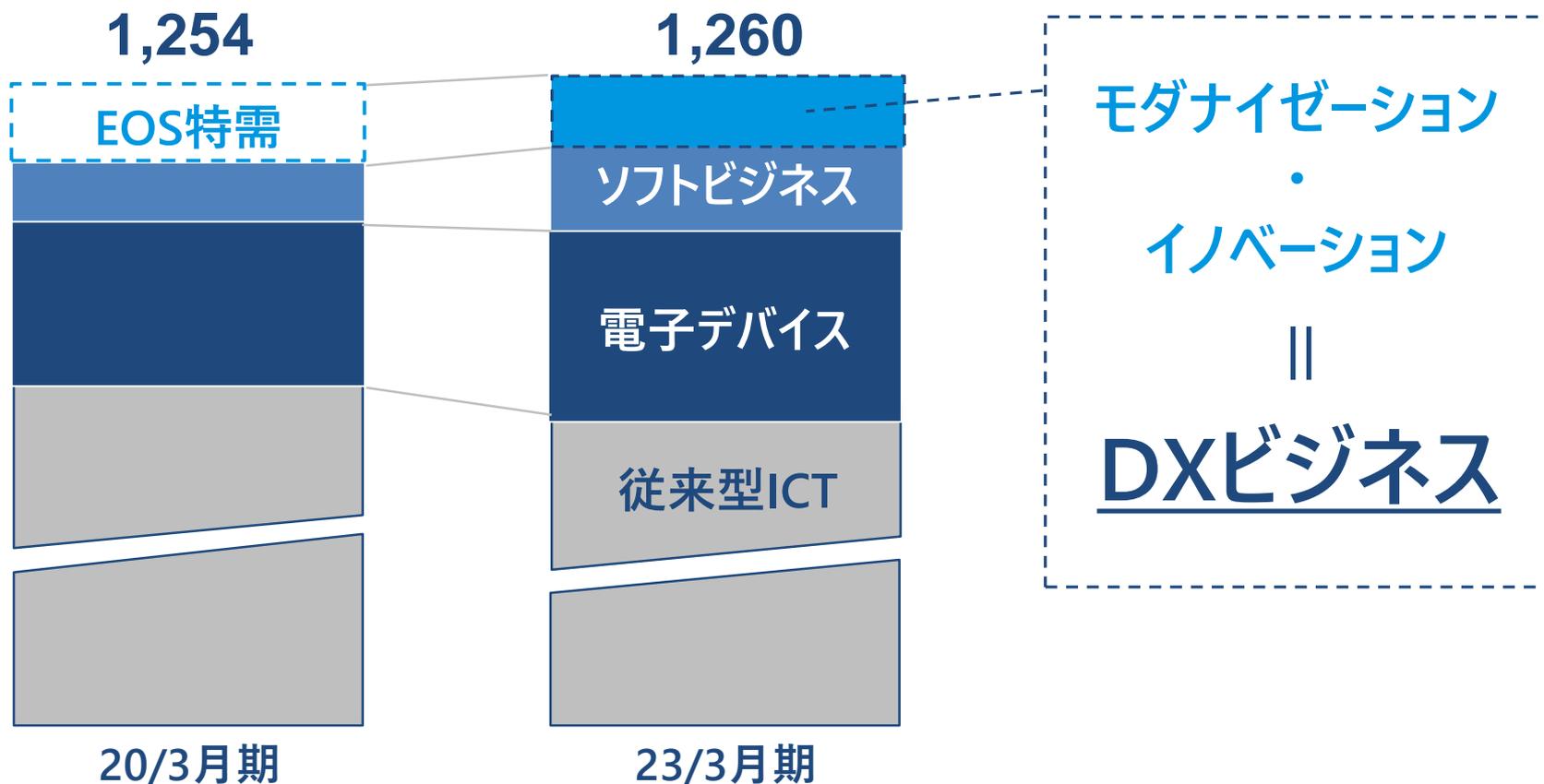
(営業利益率2.0%)

ROE : 5.9%

# 売上高計画

- (-) EOS関連売上の減少、新型コロナウイルスによる景気後退
- (+) DXビジネス拡大、コロナ需要

(単位：億円)

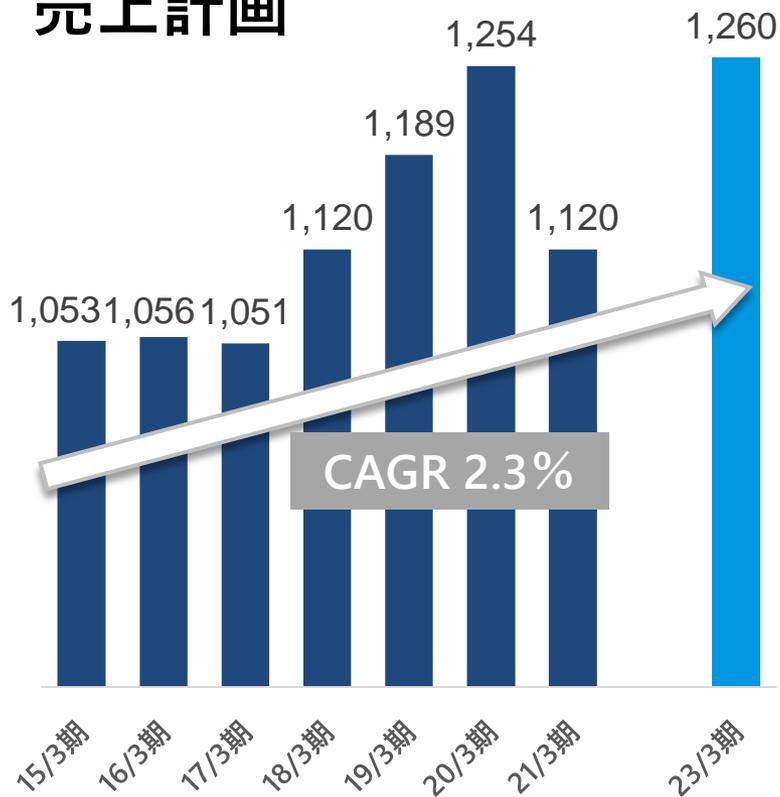


# 売上高・営業利益計画

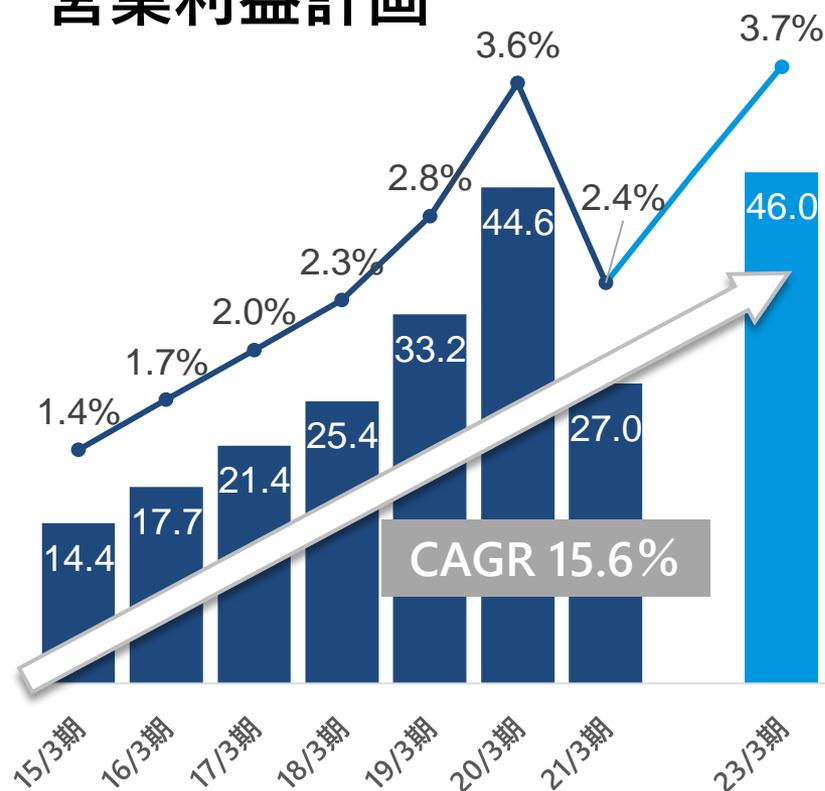
中長期での着実な成長を目指す

(単位：億円)

## 売上計画



## 営業利益計画



## 「Innovation2023」重点施策

# Ⅰ. サービス化による事業構造の変革

---

# I. サービス化による事業構造の変革

## 情報ネットワーク

### 1. デジタルを駆使した モダナイゼーションによるビジネスの拡大



# 1. サービス化による事業構造の変革

## 情報ネットワーク

## 2. ソフトビジネス強化

(1) 自社ソフト  
ビジネスの  
強化

- ①クラウド型、サブスクリプションモデルへの転換
- ②デジタル技術を活用した機能追加

(2) 協業  
パートナー  
ソフト拡販

- ①競争力のあるソフト拡販
- ②M&A、資本業務提携、協業等

# 1. サービス化による事業構造の変革

## 電子デバイス

### 3. 成長分野への注力による電子デバイス事業の領域拡大

1 HMI<sup>※1</sup>、メモリストレージ、組込製品分野にシフト

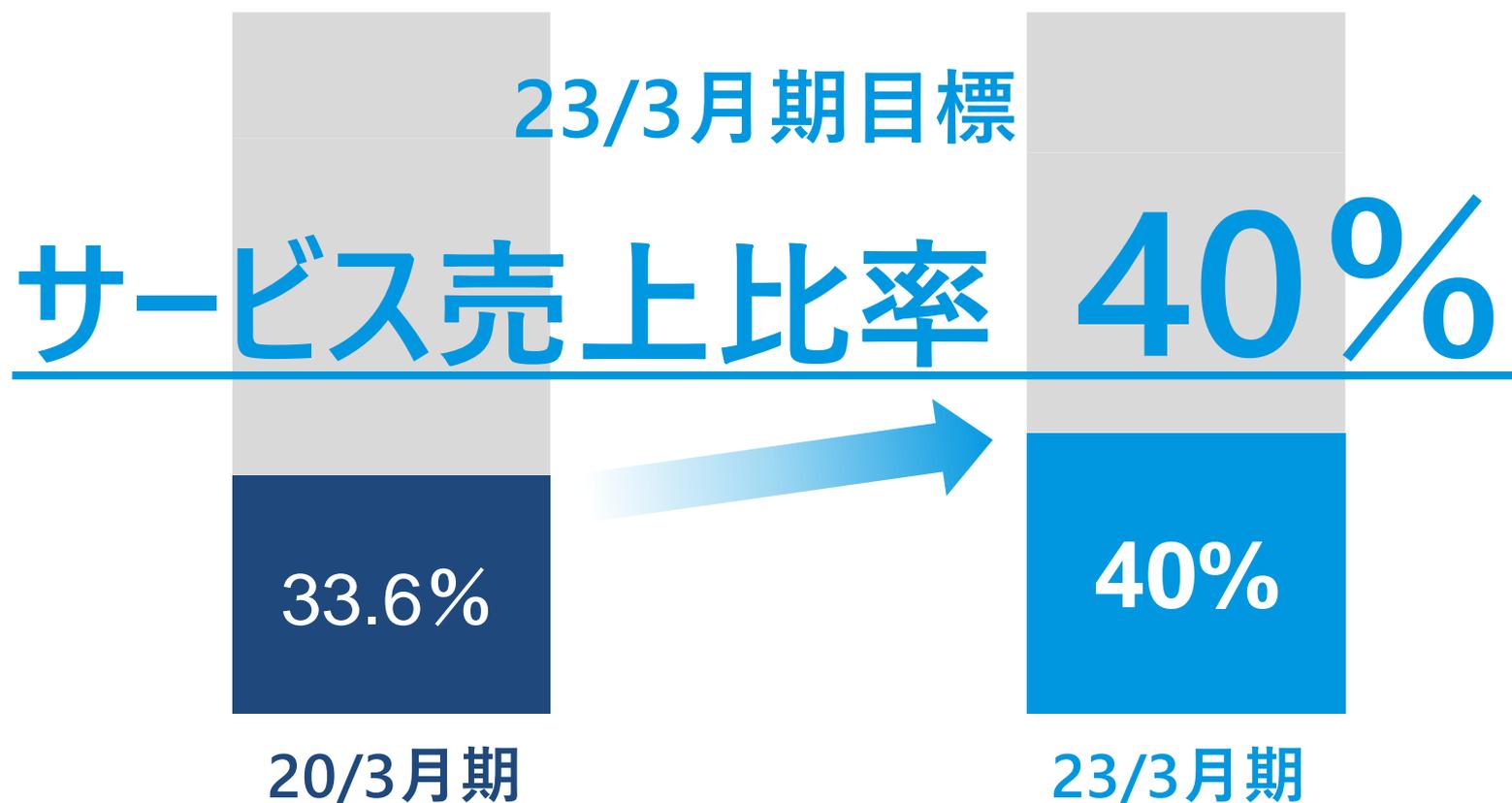
2 技術力、調達力を活用したアップセル<sup>※2</sup>・クロスセルの強化

3 顧客、仕入先との共創によるビジネス推進

※1...HMI (Human Machine Interface) : 人間と機械が情報をやり取りする装置やソフトウェア

※2...アップセル : 顧客が購入したその製品と同種で「より上位のもの」を提案し購買に結びつける販売手法の一種

# 1. サービス化による事業構造の変革



# 「Innovation2023」重点施策

## II. データドリブンビジネスの推進

---

## II. データドリブンビジネスの推進

**データドリブン = データ起点のビジネス創出**

**(1)**

業種別に  
DXビジネスを創出し  
イノベーションを推進

**(2)**

共創による  
運用起点ビジネスの  
拡大

**(3)**

データ  
サイエンティストの  
育成

**新領域拡大、収益性向上**

## II. データドリブンビジネスの推進

### (1) 業種別にデータ起点のDXビジネスを創出し、イノベーションを推進

外食

コンビニエンスストア

コンタクトセンター

医療

介護

工場

卸売市場 ...

### データドリブンサービス「D-VUE (デビュー) Service」

#### 予測

ビックデータ分析  
未来予測

#### 画像解析

ディープラーニング

#### テキストマイニング

潜在的な特徴検出

※D-VUE Service : DATA-Visualization Utilization Explainable (当社サービス名称)

# withコロナの社会（働き方と労働環境の多様化）

環境

第2波～第3波

社会

行動自粛社会（価値観の変化）  
 ・安心安全第一 ・都市集中緩和

## リモートワーク（在宅勤務）前提の働き方

### 高まるICTニーズ

アプリケーション

電子契約プラットフォーム（取引先⇔企業・団体）

グループウェア  
（人給・会計）

Web  
コミュニケーション

オンライン  
コミュニティ

ネットワーク

強固なネットワーク、セキュアなインフラ、5G網

インフラ

スマートフォン、タブレット、モバイルPC

企業



リモートワーク支援  
一元サービス提供例

電子契約

電子決裁

サイバー  
セキュリティ

## 「Innovation2023」重点施策

# Ⅲ. 経営基盤の強化

---

# Ⅲ. 経営基盤の強化

## 1. 働きやすく魅力ある会社づくり



## 2. 業務プロセス改革



## 3. 都築グループ一体となった 強固な経営基盤の実現



## 4. 企業価値向上



# 4 2021年3月期予想

---

# 2021年3月期予想

(単位：百万円)

■新型コロナウイルス感染症の流行により、第1四半期は国内外の経済活動が大きく影響を受け、第2四半期から徐々に経済活動が正常化していくと予想

	20/3期	21/3期 通期業績予想	増減額	前期比
売上高	125,366	<b>112,000</b>	△13,366	89.3%
営業利益	4,457	<b>2,700</b>	△1,757	60.6%
(営業利益率)	(3.6%)	<b>(2.4%)</b>	(△1.2pt)	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,155	<b>1,800</b>	△1,355	57.0%

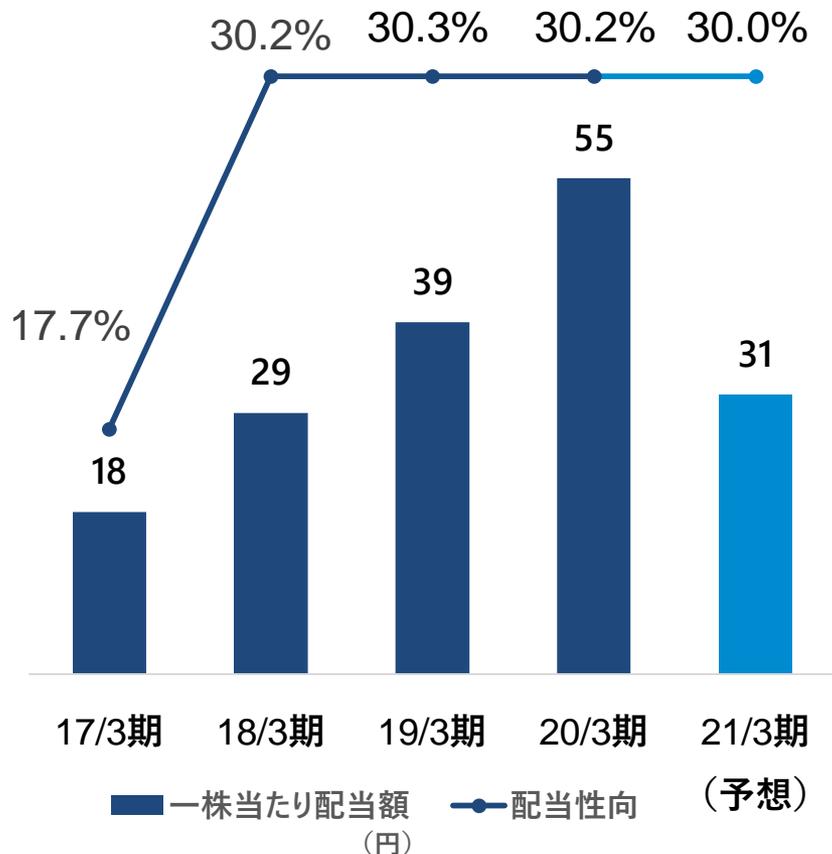
# 5 株主還元

---

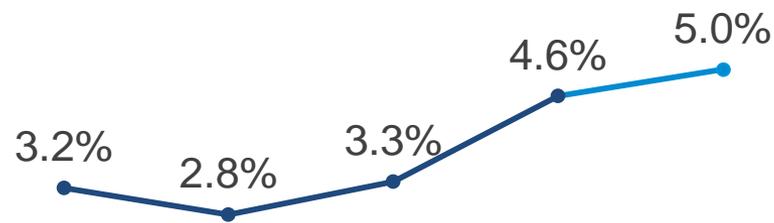
# 株主還元

- 20/3期は16円増配し配当額55円、配当性向30.2%
- 今後も安定配当を基本に、配当性向30%前後を目指す

## 一株当たり配当額および配当性向



## 配当利回り



16/3期 17/3期 18/3期 19/3期 20/3期

※配当利回り = 1株当たり配当 ÷ 期末 (権利付最終日) 株価

## 株主優待

保有株式数	商品	寄付
100株以上1,000株未満	1,000円相当の食品類	1,000円
1,000株以上	3,000円相当の食品類	3,000円

## 6 SDGsへの取り組み

---



# SDGsへの取組方針

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



事業活動・企業活動

経営理念：「人と知と技術」を未来につなぎ、  
豊かな世界を開拓します。

## SDGs取組方針

1. 企業としての社会的責任を全うし、持続可能な社会実現に貢献する
2. イノベーションの推進とICTの利活用によって社会課題解決に取り組む
3. 健康経営を推進する

# SDGs達成にむけた活動方針

## 事業活動

SDGs	方針
	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・介護・健康寿命延伸に役立つソリューションの提供</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様の働き方改革実行支援</li> <li>いつでも、どこでも、誰もが働きやすい環境整備のサポート</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>質が高く、安全なICTサービスをお客様に提供</li> <li>DXビジネスの創出</li> </ul>

## 企業活動

SDGs	方針
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社員とご家族の心身の健康維持、増進</li> <li>働きやすく魅力ある会社の実現</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティを推進、風土改革に向けた取組みを実践</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部統制、リスクマネジメント体制の強化</li> <li>コンプライアンス等のリテラシー向上</li> </ul>

## 事業活動・企業活動 (共通)

SDGs	方針
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業活動と企業活動を連携させ、DXを実現</li> </ul>

# 主なプレスリリース

項	日付	内容	
1	2019/12/20	コムデザインと「自然言語処理」の共同開発プロジェクトを発足	<a href="#">プレスリリースを見る</a> 
2	2019/12/23	アイネットと運用サービスならびにクラウドサービス事業で協業を開始	
3	2020/02/07	次世代アプリケーション開発プラットフォーム「VANTIQ（バンティック）」を活用したソリューションの提供開始	
4	2020/03/02	AIを活用したD-VUE Service（デビューサービス）の提供開始	
5	2020/04/16	日本土地建物様に「KitFit不動産 分譲管理テンプレート」を導入	
6	2020/04/16	全面刷新した「IntrameriT（イントラメリット）グループウェア」を提供開始	
7	2020/05/07	「IT業界新卒就職人気企業ランキング」にて、16位にランクイン	

# 株価推移

(出来高：株)

(株価：円)



# お問合せ

担当	都築電気株式会社 コーポレート企画統括部 経営企画室
所在地	〒105-8665 東京都港区新橋六丁目19番15号 (東京美術倶楽部ビル)
TEL	TEL(03)6833-7780
URL	<a href="https://www.tsuzuki.co.jp/">https://www.tsuzuki.co.jp/</a>

## ■免責事項■

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

本書面に記載されている会社名、製品およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。

